

2024年6月28日



## 横浜美術館 2024—2025 年度 企画展スケジュールのご案内

横浜美術館は、3年にわたる大規模改修工事を終え、2024年3月、「第8回横浜トリエンナーレ」でリニューアルオープンしました。会期終了後は、工事のあいだ外部倉庫に保管していた約14,000点のコレクションを館内に戻す作業のため、再び休館いたします。11月に一部施設を開室し、いよいよ2025年2月、すべての活動を再開します。

この全館オープンのトップを飾るのが、真正面から「横浜」を取り上げる「おかえり、ヨコハマ」（2025年2月8日—6月2日）です。続く「佐藤雅彦展」（仮称／2025年6月28日—11月3日）、「日韓現代美術展」（仮称／2025年12月6日—2026年3月22日）までの1年にわたる企画展シリーズを「横浜美術館リニューアルオープン記念」とし、新しくなった美術館の船出を彩ります。

横浜という土地に根差すこと。「アート」の枠組みを超えた表現にも果敢に取り組むこと。国際貿易港としての歴史を踏まえ、世界に目を向けること。いずれも横浜美術館ならではのテーマを掲げる充実のラインナップです。どうぞご期待ください。

横浜美術館 館長 蔵屋美香

### 企画展ラインナップ

#### 横浜美術館リニューアルオープン記念 おかえり、ヨコハマ

2025年2月8日（土）— 6月2日（月）

開港以前にこの地に住んだ人びと。170か国籍を数える市民。横浜発の意外なプロダクト。この展覧会は、こうした多様なヨコハマの姿に光を当てます。当館のコレクションを活用し、またアーティストへの新作依頼も行います。

タイトルには、約3年の工事休館を経て「横浜美術館が帰ってきた」という意味と、「生きた時代や生まれた地域を問わず、横浜に関わるすべての人を『おかえり』とって迎え入れたい」という願いを込めています。



ルネ・マグリット 《王様の美術館》1966年  
油彩、カンヴァス 130.0 × 89.0 cm  
横浜美術館蔵

#### お問合せ先

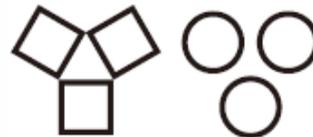
横浜美術館 広報担当（福山、山本、高橋）

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

TEL：045-221-0319 FAX：045-221-0317 Email：[pr-yoma@yaf.or.jp](mailto:pr-yoma@yaf.or.jp)

プレス画像申込

2024年6月28日



## 横浜美術館リニューアルオープン記念 佐藤雅彦展（仮称）

2025年6月28日（土）— 11月3日（月・祝）

『ピタゴラスイッチ』『だんご3兄弟』『0655／2355』などの教育番組群、『バザールでござーる(NEC)』『モルツ(サントリー)』『スコーン（湖池屋）』をはじめとするCM群、《計算の庭》《指紋の池》に代表される身体表象をテーマにしたインタラクティブアート群。佐藤雅彦は、表現者そして教育者として、さまざまなメディアを用いて斬新、かつ親しみやすいコンテンツを発表し続け、90年代以降のメディアの世界を牽引しています。

初の回顧展となるこの展覧会では、佐藤の40年にわたる創作活動を概観し、そこに通底する独創的な思考方法と表現手法、感性を浮き彫りにします。



佐藤雅彦  
撮影：岡田卓士

## 横浜美術館リニューアルオープン記念 日韓現代美術展（仮称）

2025年12月6日（土）— 2026年3月22日（日）

地理的にも文化的にも近い他者として、長い歴史を歩んできた日本と韓国。その中でも、1945年以降今日に至るまでの美術は、どのような関係にあったのでしょうか。二国間の接点や断絶、共通点と差異を中心に考えると、たがいの、そして自己の意外な姿が立ち上がってくるかもしれません。

1965年の日韓国交正常化から60年となる節目に合わせ、韓国国立現代美術館との共同企画により、日韓現代美術の関係史を紐解きます。



韓国国立現代美術館果川  
MMCA Gwacheon ©Park Jung Hoon

お問合せ先

横浜美術館 広報担当（福山、山本、高橋）

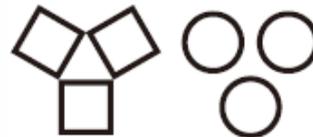
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

TEL：045-221-0319 FAX：045-221-0317 Email：[pr-yma@yaf.or.jp](mailto:pr-yma@yaf.or.jp)

プレス画像申込

# Press Release

2024年6月28日



## その他のイベント

### 横浜美術館 新収蔵作品特別展示 浅井裕介《八百万の森へ》

2024年7月5日(金) — 7日(日)  
12:00-17:00 (入場は閉場の30分前まで)

現代美術家 浅井裕介の新作《八百万の森へ》の3日間限定特別展示(観覧無料)を開催します。

本作品は、横浜信用金庫創立100周年記念事業として2023年度横浜市文化基金に寄せられた寄附金を財源に、横浜市が浅井裕介氏に作品の制作を委嘱し、新たに横浜美術館コレクションに加わったものです。画材として主に横浜市内の土が用いられ、多くの人や場所との交流が生まれた本作品を、この機会にぜひご覧ください。

※通常の当館開館時間とは異なりますのでご注意ください。  
※会期中ご鑑賞いただけるのは、本作品のみとなります。



浅井裕介《八百万の森へ》2023年  
横浜を含む日本各地の土、アクリル樹脂、木炭、鉛筆、弁柄、9枚のパネル 325×390cm (可変)  
横浜美術館蔵(横浜信用金庫創立100周年記念寄附による購入)  
撮影:坂本理

## 横浜美術館 今後のスケジュール

2024年6月9日 — 2025年2月8日

- |             |  |
|-------------|--|
| 2024年6月9日   | 「第8回横浜トリエンナーレ」閉幕<br>以降、約14,000点の横浜美術館コレクションを外部倉庫より収蔵庫へ   |
| 2024年7月5-7日 | 「横浜美術館 新収蔵作品特別展示 浅井裕介《八百万の森へ》」   |
| 2024年11月1日  | 「じゆうエリア」一部オープン(ギャラリー8、ギャラリー9、美術図書室、ミュージアムショップ、カフェをリニューアルオープン)<br>市民のアトリエ、子どものアトリエなど教育普及プログラム再開<br>レクチャーホール利用受付開始 |
| 2025年1月     | 全サインおよび家具設置完了  |
| 2025年2月8日   | 全館オープン<br>横浜美術館リニューアルオープン記念「おかえり、ヨコハマ」展、<br>横浜美術館コレクション展開催   |

お問合せ先

横浜美術館 広報担当(福山、山本、高橋)  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1  
TEL: 045-221-0319 FAX: 045-221-0317 Email: [pr-yama@yaf.or.jp](mailto:pr-yama@yaf.or.jp)

プレス画像申込

# 横浜美術館